

みんなで
守りたい!

水源涵養林のおはなし

すいげんかんようりん



すいげんかんようりん
水源涵養林って
何かな?

水源涵養林は、雨を土にしみこませて、
ゆっくりと時間をかけきれいな水を川へ
なが
流すはたらきを持つ森林のことうです。



その川に流れた水が
すいどうすい
水道水になるんだね!

そのとおり!

だから...
水源涵養林を
守ることが大切です。

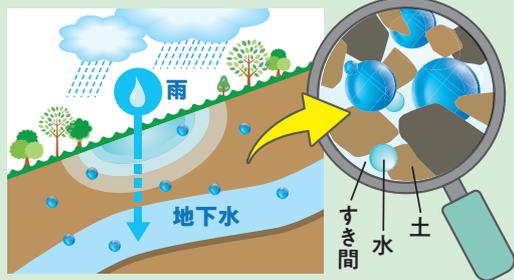
水源涵養林

のはたらき

1. 水をたくわえる

けんこう
健康な森林では、落ち葉や枯れ枝などが長い
あいだ
間つもり、小さなすき間がある土になるので、
あまみず
たくさんの雨水をたくわえることができます。

【土の拡大】



2. 水をきれいにする

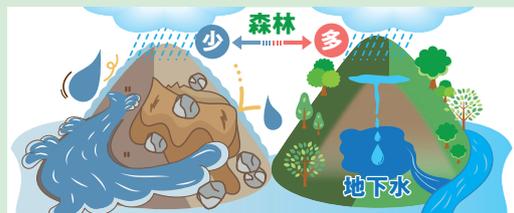
たくわえられた水は、土のすき間をゆっくり
と通る間にチリなどの汚れが取り除かれ、
きれいな水になります。地下水は再び地表
あらわ
に現れ川に流れこみます。



3. 洪水などの災害をふせぐ

こうずい
洪水がないと、雨水は地表をすべり落ちすぐに川
に流れてしまいます。

森林があると、スポンジのような土が雨水をたくわ
えるので土がぐずれたり川の水が急に増えたりす
ることをふせいでくれます。



守るために!

ちいき
水源地域の森林を守り育てるために、水源地域に住んでいる人と
北九州市民がいっしょに植樹(山に木を植えること)や育樹(森林に
てき度な日光があたるよう下草を刈ること)をしています。
じっし
実施する時は、市政だよりやホームページなどでお知らせします。

ぜひ参加してね!

